



音更町立
共栄中学校
2年A組 16番
高田 莉央

日本が属す温帯

三つの気候区

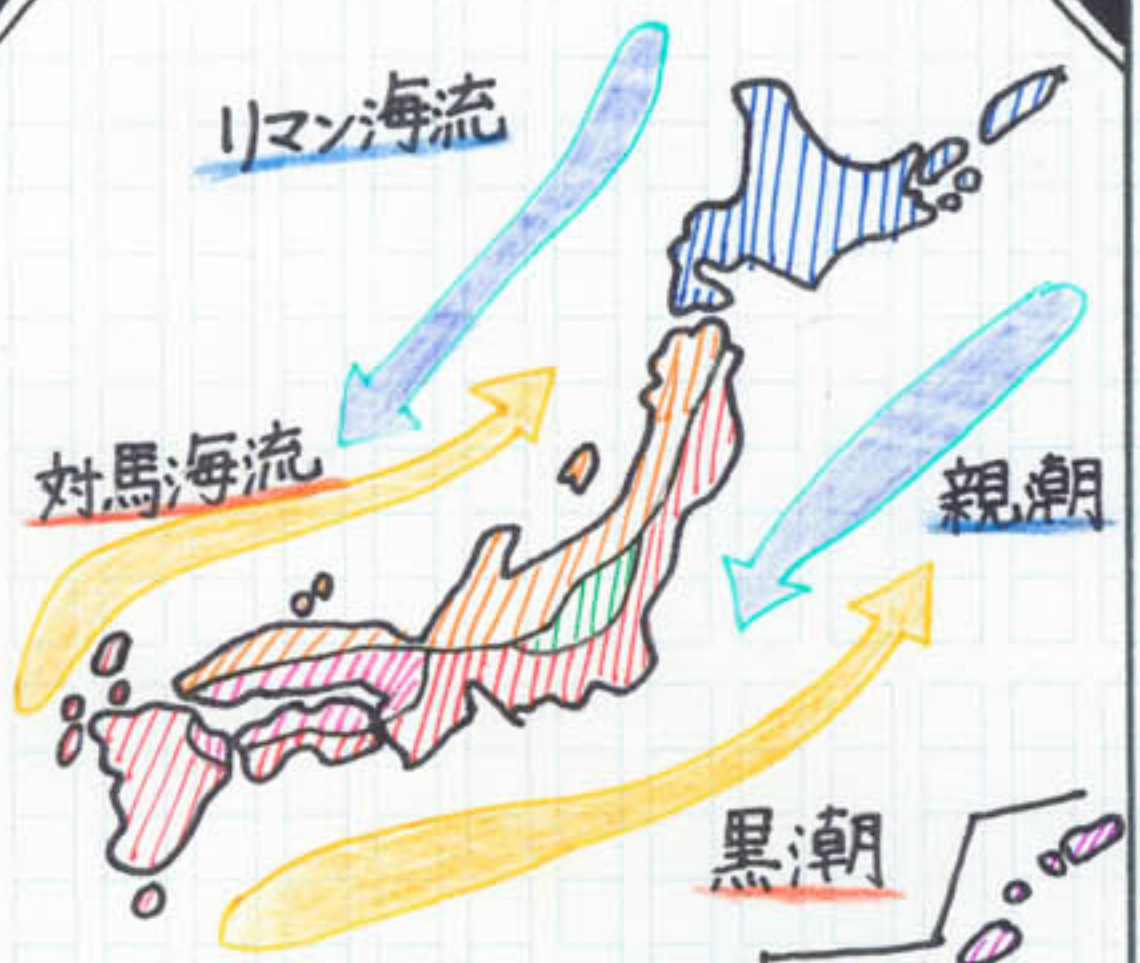
日本が属する温帯では三つの気候区に分かれる。年間を通じた降水量の変化、そして気温。これらのが違いくらい分けられているといわれている。

地中海性気候
夏にはほとんど雨が降らずに乾燥して冬に雨や雪などの降水が多く見られるのが特徴。

西岸海洋性気候
緯度が高いわりに冬が暖かく、一年を通じて降水がある。偏西風や暖海流、特徴的な気圧配置などの影響によるもの。

温暖湿润気候
主に大陸の東岸に見られ、一年の中での降水量、気温の変化が大きく、温帯の中でもはつきりしている気候区である。

日本列島は広い範囲が温暖湿润気候に属している。夏季の多雨から稲の生育に適すという



- 北海道の気候
- 南西諸島の気候
- 日本海側の気候
- 太平洋側の気候
- 中央高地の気候
- 瀬戸内の気候

ユーラシア大陸と太平洋の間位置する日本列島は、太平洋から吹き込む、暖かい湿気を多く含む。夏の季節風(モンスーン)ともよばれる)とシベリアから吹く冷たい冬の季節風の影

響を強く受ける。そして天候をくずす低気圧や前線が列島上を多く移動するということが年間降水量が多くなる。また、梅雨といふ降水量の多い時期も見られる。夏から秋にかけては、赤道の北の地域で発生して北上した台風などが日本に風水害をもたらす。

天候・気温・降水量

地域によって異なる!?

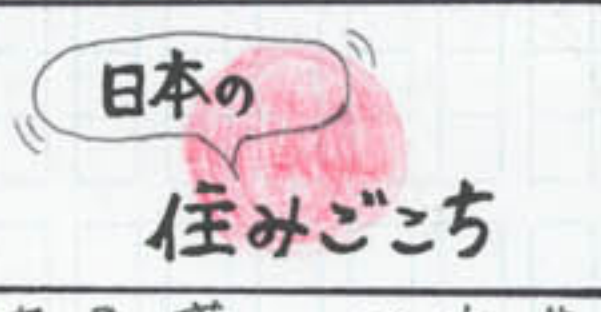
南北に長い日本列島は、地域によって気候が大きく異なる。冬は平均マイナスイス三からプラス十八までの広い幅があるといわれている。

日本はほとんどの地域が温帯の温暖湿润気候に属している。温暖湿润気候は、人間生活にほどよい気候ではあるが夏の平均気温二十二度を越え、高温多湿であるといえるだろう。

冬は平均マイナスイス三からプラス十八までの広い幅があるといわれている。

日本はほとんどの地域が温帯の温暖湿润気候に属している。温暖湿润気候は、人間生活にほどよい気候ではあるが夏の平均気温二十二度を越え、高温多湿であるといえるだろう。

冬は平均マイナスイス三からプラス十八までの広い幅があるといわれている。



る。日本の多雨は、積雪、梅雨、台風のいずれかである。これらのことから生活していく上で大きな問題があるというわけではなないが住みづらさを感じている人もいるだろう。一番住みやすい、バスタードといふのは西岸海洋性気候だといえる。夏はさほど暑くならないという特徴がある。上空で流れる冷たくかいた空気は季節風となり暖流の対馬海流が流れる日本海で水分を多く含み、日本海側に雨、雪を多く降らせる。中央の山脈をこえた季節風は水蒸気が少ない傾向にあるため、太平洋側ではかわいた風が吹き晴れた日が続く。瀬戸内は、中国山地と四国山地にはさまれ、太平洋や日本海からの水蒸気が届きにくい。そのため、降水量の少ない地域となっている。夏に干ばつが起こりやすく、稲作などに使う水を確保するために古

くからため池が造られてきた。中部地方の中央高地は、標高が高く山に囲まれているため年間を通して気温が低い。さらに降水量が少ない。中央高地では、特に夜や冬の気温が低いため、昼と夜、そして夏と冬の気温差が大きくなる。

北海道・東北について
北海道は日本で唯一いつ冷帯に属す。冬が長く夏が短く、梅雨がないのが特徴。気温と湿度が低く、夏は他の地域と比べて過こしやすい反面、冬はマイナス気温が続く。

東北
他の地方よりも気温が低め。夏には「やませ」という湿った風が吹くことがあり、夏でも気温が上がらないこともある。

編集後記

私は学校で学習したとき気候の単元に興味がありました。深く考えたりもできませんでした。